



平成30年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月11日

上場会社名 テックファームホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3625 URL <http://www.techfirm-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 永守 秀章
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 松本 圭太 TEL 03-5365-7888
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績（平成29年7月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	4,099	30.9	282	—	283	—	116	—
29年6月期第3四半期	3,132	△7.0	△119	—	△130	—	△93	—

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 93百万円 (—%) 29年6月期第3四半期 △114百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	15.75	15.61
29年6月期第3四半期	△13.56	—

(注) 平成29年6月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	5,275	3,968	74.1
29年6月期	5,149	3,897	74.2

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 3,910百万円 29年6月期 3,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
30年6月期	—	0.00	—	—	—
30年6月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年6月期の連結業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	13.5	360	118.2	360	122.3	130	396.7	17.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期3Q	7,702,000株	29年6月期	7,702,000株
② 期末自己株式数	30年6月期3Q	307,834株	29年6月期	307,834株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期3Q	7,394,166株	29年6月期3Q	6,888,150株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策及び日銀による金融緩和が継続し、企業活動も堅調に推移するなど、景気は緩やかな回復基調を維持しておりますが、米国の利上げによる円高の懸念、中東紛争による地政学リスクなど、先行き警戒感による株安連鎖が広がり世界経済は不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、政府が推進する「働き方改革」に伴う業務効率化に対応するためのクラウドサービスや、シェアリングエコノミー、IoTプラットフォーム、AI等により生み出される新しいサービスの利活用を目指した企業のIT投資姿勢は強く、引き続き市場の拡大が見込まれます。

当社グループは、ソフトウェア受託開発事業と自社サービスの両輪を併せ持つグループ会社として事業基盤・収益力を強化するとともに、IoTソリューションプロバイダーとして顧客企業のIoTプラットフォーム構築の推進を支援しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は4,099,583千円（前年同四半期比30.9%増）、営業利益は282,543千円（前年同四半期は営業損失119,697千円）、経常利益は283,373千円（前年同四半期は経常損失130,979千円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、当第3四半期連結累計期間において、米国ラスベガスでカジノ施設向け電子決済サービスの事業化に向けて進めております Prism Solutions Inc. が保有する資産につきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、減損の兆候が認められたため、減損損失として43,273千円を計上し、116,436千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失93,380千円）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

(ソフトウェア受託開発事業)

主力顧客であるNTTドコモ向けの音声認識等のAIソリューションや既存顧客への深耕営業による案件獲得が順調に拡大したことに加え、プロジェクト管理ツールの導入・運用、パートナーマネジメントなど、これまで取り組んできた採算管理の整備が順調に進み、生産性が向上、不採算案件は低位安定したことにより、売上高・セグメント利益ともに第3四半期において過去最高となりました。また、IoTプラットフォーム『MoL (Monitoring of Location: モル)』をはじめとした位置情報ソリューション等の自社プロダクト/サービスについて展示会への出展を行うなど、収益拡大へ向けて積極的な営業を展開しております。

カジノ施設向け電子決済サービス事業については、引き続き米国ラスベガスでのフィールドテストの実施へ向けに取り組むとともに、日本国内でのIR施設への導入を目指し準備を進めてまいります。

上記により、当第3四半期連結累計期間のソフトウェア受託開発事業の売上高は3,180,007千円（前年同四半期比32.7%増）、セグメント利益は698,548千円（前年同四半期比115.8%増）となりました。

(自動車アフターマーケット事業)

自動車整備・钣金業者向けシステム販売は、主力の整備システムやガラス・部品卸業者向けソフトの販売に加え、グループの開発力を活かした新商品である車検工程管理システムの販売を開始したことにより、事業業績は順調に推移しております。

上記により、当第3四半期連結累計期間の自動車アフターマーケット事業の売上高は975,136千円（前年同四半期比27.9%増）、セグメント損失は47,141千円（前年同四半期はセグメント損失95,879千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ255,782千円増加し、4,014,174千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が696,053千円減少したものの、受取手形及び売掛金が427,562千円、有価証券が300,000千円、仕掛品が157,126千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ123,981千円減少し、1,254,968千円となりました。この主な要因は、無形固定資産が97,488千円減少したことによるものであります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べ6,046千円減少し、6,087千円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ125,753千円増加し、5,275,229千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ460,416千円増加し、1,267,050千円となりました。この主な要因は、社債が流動区分に振り替えられたこと等によりその他が336,690千円、未払金が97,607千円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ406,061千円減少し、39,321千円となりました。この主な要因は、社債が流動区分に振り替えられたことにより408,000千円減少したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ54,354千円増加し、1,306,371千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ71,399千円増加し、3,968,857千円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより、利益剰余金が94,254千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の通期連結業績予想につきましては、現時点では、平成30年4月23日の「業績予想の修正及び特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,151,240	1,455,186
受取手形及び売掛金	1,424,712	1,852,274
有価証券	—	300,000
仕掛品	11,981	169,107
その他	179,521	252,040
貸倒引当金	△9,063	△14,435
流動資産合計	3,758,391	4,014,174
固定資産		
有形固定資産	101,452	89,507
無形固定資産		
のれん	772,237	712,322
その他	181,423	143,850
無形固定資産合計	953,661	856,172
投資その他の資産		
その他	329,179	314,631
貸倒引当金	△5,344	△5,344
投資その他の資産合計	323,835	309,287
固定資産合計	1,378,949	1,254,968
繰延資産	12,133	6,087
資産合計	5,149,475	5,275,229
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	132,497	179,432
未払金	174,372	271,980
未払法人税等	124,552	130,987
賞与引当金	73,096	49,494
製品保証引当金	12,300	15,800
受注損失引当金	12,700	5,550
その他の引当金	1,800	1,800
その他	275,314	612,005
流動負債合計	806,633	1,267,050
固定負債		
社債	408,000	—
資産除去債務	22,708	22,822
その他	14,674	16,498
固定負債合計	445,383	39,321
負債合計	1,252,016	1,306,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,823,260	1,823,260
資本剰余金	1,794,894	1,794,894
利益剰余金	283,012	377,266
自己株式	△83,739	△83,739
株主資本合計	3,817,427	3,911,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	608	526
為替換算調整勘定	4,807	△1,519
その他の包括利益累計額合計	5,416	△992
新株予約権	14,671	14,671
非支配株主持分	59,943	43,497
純資産合計	3,897,458	3,968,857
負債純資産合計	5,149,475	5,275,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	3,132,753	4,099,583
売上原価	2,015,591	2,418,185
売上総利益	1,117,162	1,681,398
販売費及び一般管理費	1,236,859	1,398,855
営業利益又は営業損失(△)	△119,697	282,543
営業外収益		
受取利息	661	805
受取配当金	91	137
為替差益	1,015	3,527
保険解約返戻金	14	5,787
その他	2,500	865
営業外収益合計	4,284	11,123
営業外費用		
支払利息	2,444	1,547
支払手数料	2,590	2,535
社債発行費償却	7,869	2,412
その他	2,661	3,797
営業外費用合計	15,566	10,293
経常利益又は経常損失(△)	△130,979	283,373
特別損失		
固定資産売却損	426	—
固定資産除却損	48	—
リース解約損	325	—
減損損失	—	43,273
その他	—	1,109
特別損失合計	801	44,383
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△131,781	238,990
法人税等	△7,000	139,000
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△124,781	99,990
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△31,400	△16,446
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△93,380	116,436

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△124,781	99,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	961	△81
為替換算調整勘定	9,480	△6,327
その他の包括利益合計	10,441	△6,408
四半期包括利益	△114,339	93,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△82,939	110,027
非支配株主に係る四半期包括利益	△31,400	△16,446

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ソフトウェア 受託開発	自動車アフター マーケット	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,395,768	736,985	3,132,753	—	3,132,753
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	25,384	25,384	△25,384	—
計	2,395,768	762,369	3,158,137	△25,384	3,132,753
セグメント利益又は損失 (△)	323,772	△95,879	227,892	△347,590	△119,697

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△347,590千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ソフトウェア 受託開発	自動車アフター マーケット	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,154,324	945,259	4,099,583	—	4,099,583
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,682	29,877	55,559	△55,559	—
計	3,180,007	975,136	4,155,143	△55,559	4,099,583
セグメント利益又は損失 (△)	698,548	△47,141	651,407	△368,864	282,543

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△368,864千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ソフトウェア受託開発」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては43,273千円であります。